

法政大学教職課程センター 多摩だより

第47号 2022年1月11日発行
法政大学教職課程センター多摩相談室
総合棟1F 食堂横ガラス張り奥の部屋
(月～金)10:00～18:00

相談員在室日:月・水・金

【教員採用試験対策講座③ (2～3月) について】

来年度の教員採用試験に向けて、主に3年生を中心に(1・2・4年生で希望する者も可)「教員採用試験対策講座」の第3弾を開催します。初めて参加する皆さんはもちろん、10月～12月に実施した「教員採用試験対策講座」に参加した皆さんも奮ってご参加ください。講座は、小論文、教職教養の対策講座ですが、内容は前回と変えて開催します。

■期間 2月～3月までの春季休業期間

■日程・時間・方法・場所など

- ・各講座をすべてオンライン(ズーム)形式で開催します。
- ・小論文講座はA日程、B日程の2グループに分けて、同じ内容で開催します。今回も「教職教養講座」はA日程のみです。
- ・小論文講座の参加希望者は、A日程・B日程のどちらかを選んでください。

◆小論文講座(全6回)

A日程 … 月曜日の午前10:30～11:30〔担当・前田〕

2/7、14、21、28、3/7、14

B日程 … 金曜日の午前10:30～11:30〔担当・熊野〕

2/4、18、25、3/4、11、18

- ・論作文の基本から学び、論作文を書く土台を作ります。論作文は実際に書いてみることで、自分の課題が見えてきます。前回の講座とテーマを多少変えて取り組みます。

◆教職教養講座(全4回)

A日程 … 水曜日の午前10:30～11:30〔担当・前田〕

2/2、16、3/2、16

- ・1次筆記の対策として、教育原理、教育法規、学習指導要領、いじめ・虐待・働き方改革などの教育問題や社会問題等の問題演習に取り組みます。

■申し込み

- ・参加希望者は、1月21日(金)までに kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp までメール、もしくは窓口へお越しください。メールの際は氏名・学部学科・学年・学生証番号・メールアドレスに加え、受験希望自治体・校種・教科をお知らせください。参加希望の講座名及び小論文講座はA・B日程のどちらが希望かを必ず明記してください。

※教職履修に関わる質問は、所属学部窓口へお願い致します。

※メール相談や論文はいつでも受け付けますが、返答は原則として以下の日時に行います。

◆前田先生(社会科):月・水

◆熊野先生(保健体育科):金 各日10時～18時

◎教職相談の申し込み、質問はこちらへ (窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み)

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。

①氏名 ②学部・学科 ③学年 ④学生証番号 ⑤面談希望時間(第3希望まで) ⑥相談内容

⑦メールアドレス(PCから受信可能なもの)を必ず記入してください。

*宛先: kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp

「新たな学びがたくさんありました！」

教員採用試験対策講座が終わる

「教員採用試験対策講座②」が12月15日にすべて終了しました。参加した皆さん、大変お疲れ様でした。今回は昼休みに対面で開催されましたが、小論文・面接・教職教養の各講座にのべ165名の参加でした。3年生にとっては、来年が教員採用試験受験の年になりますが、もう一度自分はなぜ教員になりたいのか、どのような教員を目指したいのかという原点に立ち返って、自分を見つめなおしてほしいと思います。

以下、講座に参加しての感想をご紹介します。

小論文講座に参加して

高校受験や大学受験を経験せず、高校も書類だし大学も付属だったので、他人に自分の意見を文章で伝えるというのが新鮮で大変だった。何度も書いていくうちに文章の書き方や、内容の具体性をもって記述することができるようになってきたので時事的な問題に目を向け、常にアンテナを張っておき、自己の考えをまとめておきたいと思った。

学校の教員になるという意志や、生徒のより良い学校生活のために行動するという気持ちを素直に書くことが大切であることや、内容の具体性など先生からの添削で学ぶことができた。

教員採用試験に向けて、限られた時間の中で書ききることができるように講座後も書き方や構成などを振り返るなどしておきたいと思った。ご指導ありがとうございました。

小論文を書いてみて、まず、「小論文」というものの書き方について学ぶことができて、今後に活かせることを身につけるきっかけになったので良かったと思います。

また、「信頼できる教師とは」や「自己肯定感」等、抽象的でかつ教育の上で大切なことを小論文を通して具体的に時間をかけて考えることが良かったです。

また、自分のビジョンや考えていることを言葉にする難しさや、知識のなさにも気づくことができたので、沢山の資料や反省を活かしながら、より具体的なものにしていけるように頑張っていきます。

◆教職教養講座に参加して

秋学期の間、様々なテーマを用意して、私たちに気づきと学びを与えて頂き、ありがとうございました。自分1人では思いつかなかったり、気がつかなかったことも、仲間と話し合いの中で、知ることができました。

普段、一緒にいる友達とあまり話し合わないテーマの話も出来て、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。

前回の講座にも参加させて頂きましたが、今回は人数も多く、新たな学びがたくさんありました。具体的方策に課題はあるか？実現可能か？本当に生徒のためになるか？を考えながら客観的に話すことが難しかったです。また、学習指導要領や教育法等、教師にとって重要な取り組みの前提で考案するのが難しかったです。オンラインのときよりも、より相手の表情や考えがわかりやすく、いい議論ができてよかったです。ありがとうございました。

「来年の採用試験、さらには教員として頑張っていきたい！」

12月17日の「合格者の話を聞く会」から

12月17日に開催された「合格者の話を聞く会」は合格者3名、会場参加2名、ズーム参加5名の合計10名が参加して、大変有意義な会となりました。以下、合格者と参加者の方々からコメントをいただきましたので、ご紹介いたします。

❖合格者から❖*****

自分の人生は自分で決めるんだという強い気持ちを持ち、焦らず悩み、葛藤して納得いく進路に向けて努力してほしいです。

- 自治体の傾向をしっかりとつかむこと。
- 自分自身の事を分析して必要なことを勉強する。
- 早い時期から対策を考える

1次試験はとにかくインプット、二次試験はとにかくアウトプットだと思います。早め早めに対策をしましょう。困ったり迷ったりしたら、教職課程センターの先生方に相談するのが私のオススメです。

☆参加者の感想*****

合格者それぞれによって試験までの勉強の仕方が違って、三者三様の意見が聞けて良かったです。教員を目指したきっかけや、就活との兼ね合いなど、教採試験以外の話もたくさん聞くことができました。今日の貴重な会を参考にして、来年の採用試験、さらには、教員として頑張っていきたいです。

具体的な勉強する期間、方法、試験の種類を伺うことができました。社会科は特に専門教養が重要視されること、どこに何が書いてあるか分かるまで勉強することが重要と認識できました。早めの勉強と一貫性を大切にしていきたいです。

◆パワーポイントなどの資料や実際の参考書や問題集などを使って発表していただいた合格者の皆さん、本当にありがとうございました。そして合格おめでとうございました。また、参加者の皆さんもありがとうございました。